

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第1週)

宮城県【平成27年01月09日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.12.29 ~ 1.4 ・ 第1週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所						仙 台 市					宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第50週	第51週	第52週	第1週	
水痘	5 1.00	10 1.00	3 0.60		4 1.33	6 1.20		8 0.31	36 0.62	36	○ →	◎ →	◎ →	○	
流行性耳下腺炎	1 0.20	2 0.20			3 1.00				6 0.10	6	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	55 11.00	26 2.60	6 1.20	10 5.00	26 8.67	18 3.60	10 5.00	61 2.35	212 3.66	212	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
手足口病							10 5.00	1 0.04	11 0.19	11	→	→	→		
伝染性紅斑	5 1.00	2 0.20			3 1.00	6 1.20	1 0.50	9 0.35	26 0.45	26	◎ →	◎ →	◎ →	○	
突発性発しん	1 0.20	2 0.20		2 1.00	3 1.00	1 0.20	1 0.50	2 0.08	12 0.21	12	○ →	レ →	○ →	レ	
ヘルパンギーナ											→	→	→		
インフルエンザ	238 29.75	123 8.20	85 10.63	25 8.33	86 17.20	115 14.38	45 11.25	423 10.07	1140 12.26	1,140	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
咽頭結膜熱				1 0.50				1 0.04	2 0.03	2	○ →	○ →	レ →		
流行性角結膜炎											→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7 0.70	1 0.20	2 1.00	2 0.67	1 0.20		8 0.31	21 0.36	21	◎ →	◎ →	◎ →	レ	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎								1 0.20	1 0.08	1	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	3 0.60	5 0.50		5 2.50		10 2.00		7 0.27	30 0.52	30	◎ →	◎ →	◎ →	○	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)						5				◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>				
	不明発疹症							2							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								56						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症：報告なし  
2類感染症：結核 ※男児、女児は6歳未満
- 仙南管内 男性1名(第52週)、女性1名(第52週)
  - 石巻管内 男性1名
- 3類感染症：報告なし  
4類感染症：報告なし  
5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症  
大崎管内 女性1名(第49週)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 35例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】  
仙南、石巻管内で警報継続中。

【インフルエンザ】  
仙南、大崎、仙台管内で警報継続中。  
登米、石巻、気仙沼管内で注意報継続中。

【手足口病】  
気仙沼管内で警報値を超えた。

### 【病原体検出情報】

#### ～保健環境センター～

インフルエンザ集団発生事例より  
石巻管内 第52週採取分 インフルエンザウイルスAH3 2件  
溶連菌感染症患者より  
栗原管内 第52週採取分 A群溶血性レンサ球菌 T4型 1件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第51週採取分 (12.15～12.21)	第52週採取分 (12.22～12.28)	第1週採取分 (12.29～1.4)
インフルエンザウイルスA(H3)型	11件	0件	0件
バラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	2件	0件	0件
RSウイルス	7件	0件	0件
アデウイルス	1件	0件	0件

### 【インフルエンザ】

先週に比べ患者報告数が減少しましたが、学校等の冬季休暇が終了した後に、本格的な流行となる可能性が考えられます。今後ともインフルエンザの発生動向に十分注意が必要です。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第49週		12.7	34.4	32.1	2.7	2.0	5.0	1.7	4.7	2.7	1.0	1.0	299
第50週		11.8	33.0	32.6	4.4	2.0	6.7	4.2	2.3	1.5	0.9	0.7	688
第51週		9.1	36.9	32.1	5.0	3.3	4.8	4.1	1.9	1.5	0.9	0.3	1549
第52週		14.3	30.7	25.6	5.2	5.1	6.5	5.1	3.6	1.8	1.3	0.8	2382
2015年 第1週		19.6	18.9	12.5	6.1	11.6	11.4	7.2	5.7	3.2	1.6	2.3	1140

### インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

### 【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成26年9月28日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	117(4)	79(2)
全 国	16,593(291)	7,516(119)

( )内は平成26年6月30日～平成26年9月28日までの報告数である。

API-Net (エイズ情報予防ネット)より

### 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第50週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**：定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は172例と前週と比較して増加した。年齢別では0歳(11例)、1～9歳(60例)、10代(19例)、20代(1例)、30代(3例)、40代(6例)、50代(5例)、60代(14例)、70代(19例)、80歳以上(34例)であった。**RSウイルス感染症**：報告数は8,180例と第46週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約66%を占めている。咽頭結膜熱：定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**：定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。**感染性胃腸炎**：定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。**水痘**：定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。**手足口病**：定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。**百日咳**：定点当たり報告数は2週連続で増加した。**ヘルパンギーナ**：定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。**マイコプラズマ肺炎**：定点当たり報告数は減少した。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**：定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。14府県から38例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(22例)、5～9歳(6例)、10代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

※全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字：定点当たり報告数